

特別シンポジウム

「生態リスクマネジメントのこれから」

～21世紀 COE プログラム「生物・生態環境リスクマネジメント」の成果と今後～

主催 国立大学法人横浜国立大学大学院環境情報研究院 シンポジウム実行委員会
共催(予定) エコケミストリー研究会、環境アセスメント学会、(社)環境科学会、環境経済・政策学会、環境法政策学会、(財)世界自然保護基金ジャパン、(財)日本自然保護協会、日本生態学会、日本土壌動物学会、(社)日本水環境学会

後援(予定) (独)国立環境研究所、(財)地球環境戦略研究機関、国際連合大学高等研究所

開催主旨 生物多様性の減少と生態系の劣化が人類の将来に大きな影響を与えるという認識が、国際的に広がり、様々な取組が進められています。そこで、横浜国立大学が拠点形成進めてきた文部科学省 21 世紀プログラム「生物・生態環境リスクマネジメント」の 5 年間の成果をまとめて報告するとともに、「アジア視点の国際的な生態リスクマネジメント」への発展を考える特別シンポジウムを企画致しました。

1. 開催月日 平成 19 年 4 月 21 日(土)

2. 開催場所 横浜国立大学教育文化ホール

3. 定員 先着 200 名

4. 参加費 **無料**

5. プログラム

10:30～10:40 開会挨拶

10:40～11:20 21 世紀 COE プログラム「生物・生態環境リスクマネジメント」
拠点形成の概要 横浜国立大学 特任教授 浦野 紘平

11:20～12:00 土壌劣化による生態系リスク評価
横浜国立大学環境情報研究院 教授 金子 信博

12:00～13:00 昼 休 み

13:00～13:40 東京湾におけるダイオキシン類の挙動と鳥類に対する生態リスク評価
横浜国立大学環境情報研究院 教授 益永 茂樹

13:40～14:20 GIS を基盤とした環境リスクマネジメントのための水空間情報
プラットフォーム 横浜国立大学環境情報研究院 教授 佐土原 聡

14:20～14:35 コーヒーブレイク

14:35～15:15 個体群管理とリスク評価
横浜国立大学環境情報研究院 教授 松田 裕之

15:15～15:55 生物多様性国家戦略における生物多様性の概念とその重要性における
規定の国際比較論 横浜国立大学環境情報研究院 准教授 及川 敬貴

16:00～16:40 総合討論 「アジア視点の国際生態リスクマネジメント」に向けて
司会 横浜国立大学工学研究院 教授 伊藤 公紀

16:40～ 閉会挨拶

6. 申込方法

氏名、所属、連絡先住所、電話番号、Fax 番号、E-mail を記載の上、
FAX または e-mail にてお申し込み下さい。

横浜市国立大学環境情報研究院 シンポジウム実行委員会 (松田 裕之)

Fax:045-339-4373 e-mail:eco-coe4@ynu.ac.jp